

令和8年度女性デジタル人材育成事業委託業務  
公募型プロポーザル審査結果について

1. 審査委員会の日時及び会場

日時：令和8年4月27日(月)13:00～17:00

場所：高知県立人権啓発センター 4階視聴覚室

2. プロポーザルの応募者

4者

3. 審査方法及び審査結果

企画提案書、プレゼンテーション及び質疑応答の内容に基づき、各審査委員は審査（採点）を行うとともに全体で協議した結果、次のとおり本業務の契約候補者を選定した。

審査項目	候補者	次点者	3位	4位
	株式会社 H a r F o r	A社	B社	C社
(1) 運営スケジュール、運営体制	20点	19点	17点	17点
(2) 業務内容	297点	261点	200点	195点
(3) 業務遂行能力	54点	52点	48点	39点
(4) 県が推進する施策への取組	5点	0点	0点	0点
(5) 経費見積書	10点	10点	12点	9点
総合得点 ((1)～(5)計)	386点	342点	277点	260点

#### 4. 審査の項目及び配点

(1) 運営スケジュール・運営体制	25 点
(2) 業務内容	375 点
(3) 業務遂行能力	75 点
(4) 県が推進する施策への取組	10 点
(6) 経費見積	15 点

総合得点 500 点

(審査委員 5 名、一人あたり 100 点)

#### 5. 審査委員の主な意見

- ・紙媒体の情報誌での広報の費用対効果には疑問がある。(広報計画)
- ・啓発と募集広報の同時実施は目的にかなっていない。(啓発)
- ・ロールモデルに昨年度受講生を想定していることは、現実味があつてよい。(啓発)
- ・コース間の編入制度を設けるなど、実態に即した対策ができています。(講座)
- ・昨年度受講生によるサポートは意欲の継続に効果的。(講座)
- ・講座の修了率 100%は困難だが、より高める工夫をしてほしい。(講座)
- ・非正規から正規への転換や、所得向上につながるための具体策があればなお良かった。(講座)
- ・離脱防止のための対策や見直しが不足している。(講座)
- ・既存のプラットフォームとの連携により、修了者が 100%業務を獲得できているのは受講生のモチベーションにつながる。(就労支援)
- ・専門的なデジタル人材育成にこだわらず、就労に焦点が当たっている点は、地域と地元企業への理解の観点から評価できる。(就労支援)
- ・実績は評価できるが、受講生の年齢と企業ニーズのギャップへの具体策が不足している。(就労支援)
- ・予算内ではあるが、予算総額に合わせにしていると感ずるため、金額の見直しは必要。(経費見積書)